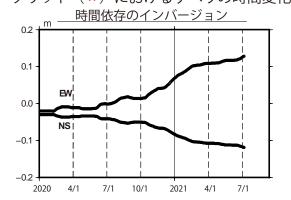


推定したすべり量が標準偏差 (σ) の 3 倍以上のグリッドを黒色表示している。

グリッド(★)におけるすべりの時間変化



使用データ: F5解 (2020/1/1 - 2021/6/25) + R5解 (2021/6/26 - 2021/7/6)

※ 電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間:2012/1/1 - 2013/3/1 (年周・半年周成分は補正無し)

※平成28年(2016年)熊本地震の余効変動等が顕著に見られる観測点は除外している。

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値 黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007) すべり方向:プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

青丸:低周波地震(気象庁一元化震源)(期間:2020/1/1 - 2021/7/6)

固定局:三隅

※ Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。

(前回までの資料は水平面に投影したすべり量で評価。今期間について、前回と同じ方法で評価した場合、Mwは6.5、最大すべり量は17cm。)

国土地理院